

**「Japan 2019」公式企画 舞台芸術 2 作品ニューヨーク初演**

～世界で好評を博した宮城聡演出『アンティゴネ』、『杉本文楽 曾根崎心中』を上演～

国際交流基金ではフランスにおける「ジャポニスム 2018」に続き、日本美術や伝統芸能、現代演劇、ポップカルチャーまで幅広く日本文化を海外に向けて発信する取り組みとして、米国において「Japan 2019」を実施しています。

今秋、舞台作品からは、世界最高峰の一つである演劇の祭典・アヴィニオン演劇祭にてアジア圏の劇団初のオープニング作品として話題となった宮城聡演出『アンティゴネ』と、人形浄瑠璃文楽に新たな魅力を与えてきた現代美術作家・杉本博司による『杉本文楽 曾根崎心中』をニューヨークにて上演します。メディアの皆様におかれましては、ぜひこの機会にご取材くださいますようお願い申し上げます。



## 記

## ■『アンティゴネ』

公演日：2019年9月25日（水）～10月6日（日）

（全11公演・10月1日および2日休演）

会場：PARK AVENUE ARMORY, WADE THOMPSON DRILL HALL

出演：SPAC

構成・演出：宮城 聡／作：ソポクレス／訳：柳沼重剛

音楽：棚川寛子／空間構成：木津潤平

衣裳デザイン：高橋佳代／照明デザイン：大迫浩二／ヘアメイク：梶田キョウコ

主催：国際交流基金、パーク・アベニュー・アーモリー、

SPAC-静岡県舞台芸術センター

協賛：Citi、Bloomberg Philanthropies、全日本空輸株式会社

※日本語上演・英語字幕



© Ryota Atarashi

## ■『杉本文楽 曾根崎心中』

公演日：2019年10月19日（土）～22日（火）（全4回公演）

会場：リンカーン・センター ローズ・シアター

構成・演出・美術：杉本博司／作曲・演出：鶴澤清治

振付：山村友五郎

映像：束芋、杉本博司

原作：近松門左衛門『曾根崎心中付り観音廻り』より

出演：豊竹呂太夫、鶴澤清治、吉田玉助（ほか）

主催：国際交流基金、リンカーン・センター ホワイト・ライト・フェスティバル

共催：公益財団法人小田原文化財団

協力：国立文楽劇場

制作協力：公益財団法人文楽協会、公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

※日本語上演・英語字幕



© Hiroshi Sugimoto/ Courtesy of Odawara Art Foundation

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

## 取材のお願い

## 【作品介绍】

## ■『アンティゴネ』

## 世界的成功を収めた SPAC 版『アンティゴネ』が、米国（ニューヨーク）初上陸を果たす

ニューヨークでも名だたるアーティストを招へいしているダイナミックな文化施設の一つ、パーク・アベニュー・アーモリー。建物はかつての軍事・社交施設であり、ルイス・カムフォート・ティファニーらが手がけたデザインの重要性が評価され、アメリカ合衆国国定歴史建造物に指定されている。アリアーヌ・ムヌーシュキン率いる太陽劇団やケネス・ブラナー演出・主演『マクベス』、誉れ高いコメディ・フランセーズなど世界の最前線で活躍するアーティストの公演を行っている同会場にて、演劇招へい作品としては日本人初の宮城聡演出『アンティゴネ』を上演する。

会場の「ウェイド・トムソン・ドリル・ホール」は、巨大なドーム状の屋根に覆われたヨーロッパの鉄道駅を思い起こさせる空間で、アーチ型の高い天井と約 5100 m<sup>2</sup>の広さが特徴的である。本公演では、この広大な歴史的建造物を用い、フランス・法王庁での上演とほぼ同じ規模の舞台装置で上演が実現。独創的な空間設計と、人を敵と味方に区別しない王女アンティゴネの思想に日本人の死生観を重ねた演出で、アヴィニオン演劇祭にて大きな反響を呼んだ本作が、今日のアメリカでどう受け止められるのか注目される。

## 宮城聡（みやぎ さとし）

1959 年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、1990 年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007 年 4 月 SPAC 芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招へい、またアウトリーチにも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営をおこなっている。2017 年『アンティゴネ』をフランス・アヴィニオン演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メディア』『マハーバーラタ』『パール・ギュント』など。2004 年第 3 回朝日舞台芸術賞受賞。2005 年第 2 回アサヒビル芸術賞受賞。2018 年平成 29 年度第 68 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2019 年 4 月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



© Ryota Atarashi

## SPAC – 静岡県舞台芸術センター

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（Shizuoka Performing Arts Center : SPAC）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優・舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としている。1997 年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007 年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させている。演劇の創造、上演、招へい活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けている。13 年、全国知事会第 6 回先進政策創造会議により、静岡県の SPAC への取り組みが「先進政策大賞」に選出。18 年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価された。



© Christophe Raynaud de Lage

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

## ■『杉本文楽 曾根崎心中』

## 米国初上演、リンカーン・センター ホワイト・ライト・フェスティバルのオープニングを飾る

人形浄瑠璃文楽は 2003 年にユネスコの「世界無形遺産」に登録され、今や世界中から注目されている日本を代表する芸能のひとつ。『杉本文楽 曾根崎心中』は、その文楽に現代美術作家・杉本博司が新しい魅力を注ぎ込んだ渾身の作品（2011 年 8 月初演）。ヨーロッパ公演（2013 年 9 月～10 月マドリッド、ローマ、パリ）、日本凱旋公演（2014 年 3 月東京、大阪）を経て、大好評を博した「杉本文楽」が、この秋、いよいよ米国に上陸。ニューヨークが誇る総合芸術施設であるリンカーン・センターにおいて、ホワイト・ライト・フェスティバルのオープニングを華々しく飾る。

## 杉本博司（すぎもと ひろし）

1948 年東京生まれ。1970 年渡米、1974 年よりニューヨーク在住。活動分野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理と多岐に渡り、世界のアートシーンにおいて地位を確立してきた。杉本のアートは歴史と存在の一過性をテーマとし、そこには経験主義と形而上学の知見をもって、西洋と東洋との狭間に観念の橋渡しをしようとする意図があり、時間の性質、人間の知覚、意識の起源といったテーマを探求している。

2008 年に建築設計事務所「新素材研究所」を設立。2009 年に公益財団法人小田原文化財団を設立。2017 年には文化施設「小田原文化財団 江之浦測候所」を小田原市江之浦にオープン。古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、演出を手掛けた『杉本文楽 曾根崎心中付り観音廻り』公演は海外でも高い評価を受ける。主な著書に『苔のむすまで』、『現な像』、『アートの起源』、『空間感』、『趣味と芸術 - 謎の割烹味占郷』。1988 年毎日芸術賞、2001 年ハッセルブラッド国際写真賞、2009 年高松宮殿下記念世界文化賞（絵画部門）受賞。2010 年秋の紫綬褒章受章。2013 年フランス芸術文化勲章オフィシエ叙勲。2017 年文化功労者。



協賛：Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc., Sumitomo Corporation of Americas, J.C.C. Fund, Japanese Chamber of Commerce and Industry of New York, and Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A., Inc.

助成：The Jim Henson Foundation

ホワイト・ライト・フェスティバル 2019 協賛団体：The Shubert Foundation, The Katzenberger Foundation, Inc., Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc., Mitsubishi Corporation (Americas), Laura Pels International Foundation for Theater, The Joelson Foundation, Sumitomo Corporation of Americas, The Harkness Foundation for Dance, J.C.C. Fund, Japanese Chamber of Commerce and Industry of New York, Great Performers Circle, Lincoln Center Spotlight, Chairman's Council and Friends of Lincoln Center.

現地公的支援：New York State Council on the Arts with the support of Governor Andrew M. Cuomo and the New York State Legislature

リンカーンセンター公式病院：NewYork-Presbyterian



©Hiroshi Sugimoto/ Courtesy of Odawara Art Foundation

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)



### 「Japan 2019」とは

フランス・パリを舞台に、さまざまな日本の芸術と文化を紹介した日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」に続き、米国において日本文化を海外に向けて発信する取組「Japan 2019」。ニューヨーク・ワシントンを中心に国際交流基金が主催・共催、または協力する「Japan 2019 公式企画」と、その他官民が実施する日本文化紹介事業、日米交流事業「Japan 2019 参加企画」により、米国において、日本の文化に関する理解・関心の裾野が広がるよう推進しています。2019年3月ニューヨークのメトロポリタン美術館で開催した『源氏物語』展 in New York～紫式部、千年の時めき～や、ワシントン D.C.のナショナル・ギャラリーオブ・アートでの「日本美術に見る動物の姿」展などの展覧会を開催し、今秋、宮城聡演出『アンティゴネ』および『杉本文楽 曾根崎心中』の舞台公演を、「Japan 2019」公式企画」として実施します。



Japan 2019

会期：2019年3月～2019年12月

公式ウェブサイト：<https://www.jpf.go.jp/j/about/area/japan2019/>

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)